

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

術中透視装置 Cios Spin を用いた画像画質の検討

[研究責任者]

リハビリテーション/整形外科 医長 塩田 直史

[研究の背景]

大腿骨近位部骨折や骨盤骨折は、体幹近くの骨折で、多くは手術治療が必要となります。手術時にはレントゲン透視装置を使用して、画像を得ながら行われます。しかし同部位には厚い組織があるためレントゲン透過性がよくなく、時に画質の悪い映像しか得ることができません。特に高齢で骨粗鬆症をお持ちの患者さんの手術では、透視による確認がづらい場合があります。

[研究の目的]

手術治療を行う大腿骨近位部骨折や骨盤骨折患者において観察研究を行い、術中に使用する最新透視装置 Cios Spin の画質評価を行うことにあります。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

大腿骨近位部骨折や骨盤骨折の患者さんで、西暦 2020 年 4 月 1 日から西暦 2020 年 12 月 25 日の間に手術治療（Cios Spin を使用）を受けた方

●研究期間：

臨床研究審査委員会承認後から西暦 2024 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：生年月日、性別、身長、体重、BMI、既往歴、歩行能力、診断確定日、診断名、手術方法、レントゲン透視画像（診療または他の研究で使用した余りの検体で保管することに以前同意をいただいたもの）

●検体や情報の管理

情報は、当院と共同研究者であるシーメンズヘルスケア株式会社で利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び共同研究者であるシーメンスヘルスケア株式会社が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

リハビリテーション科 医長 塩田直史

〒701-1192 岡山市北区田益1711-1

TEL : 086-294-9911 FAX : 086-294-9255